

提案概要（下関市勤労青少年ホーム）

評価項目		指定管理候補者
基本的な考え方	施設の性格や目的等に合致した方針	下関市勤労青少年ホームの「勤労青少年の福祉の増進と健全な育成を図る」という設置目的を達成できるよう、4つの基本方針を定め、管理運営を行う。 1. ユーパル最終章への寄り添い 2. 世代を越えた交流の場の提供 3. お客様満足度のパワーアップ 4. 公共施設としての基本姿勢
	市民の平等な利用の確保	平等かつ公平な利用の確保のため、3つの取り組みを行う。 1. 機会の平等 2. サービスの平等 3. 判断の平等
	施設の効用の最大限の発揮	運動、文化講座、料理教室などの幅広い事業の展開、青少年へのアプローチ、効果的な広報活動を行い、施設の利用促進を図る。 日常的・定期的な点検による予知保全・予防保全を行う。
団体の経営状態の健全性		定款、事業計画書、収支計画書、事業報告書及び決算書等により、経営の健全性を公表している。
事業計画	施設管理運営の実施方針（合目的性）	上記の4つの基本方針に基づき、「心に残る楽しい時間の共有を創出」をビジョンと定め、安全安心かつ快適な環境を提供できるよう、適正な管理運営に努める。
	事業への具体的な取り組み方（機能性、独創性）	1 利用促進の取組内容 （1）多世代が集えるイベントの開催 ア 通年開催のイベント イ 単発参加型のイベント （2）青少年へのアプローチ （3）広報活動による利用促進 （4）地域・関係機関・ボランティア等との連携・協働 2 サービス向上のための取組内容 （1）サービス向上のための方策 ア 夏季の熱中症対策 イ 冬季の暖房対策 ウ 講座の快適性向上 ほか （2）トラブル、苦情の防止と発生時の対応 （3）利用者の意見等の把握と管理運営への反映策 （4）環境、障がい者等への配慮

	施設の運営体制や組織（責任制、実効性）	人員配置計画に基づき、適切な施設管理ができるように責任者、有資格職員を配置する。また、本社に事務局を置き、バックアップ体制を整える。 研修計画に基づき、職員の資質の向上を図る。
	適正な管理や経理（明瞭性、規律性）	法令順守の上に成り立った安全に加え、職員による日常点検により破損・故障を未然に防止する。法令に基づく検査等を専門業者に委託し、個人情報の保護及び環境への配慮を義務付ける。
	安全管理、緊急時等の対応（安全性）	日常点検に基づき、施設保安に務める。 緊急事態発生時には対応マニュアルに基づき、利用者の安全安心を第一に考え、必要な処置を講じる。 プライバシーマーク付与事業者として、個人情報を適切に保護するため、個人情報保護マネジメントシステムを確立し、運用する。
	環境、障害者等への配慮（社会性）	食品ロスの予防、利用者とのコミュニケーションによる利便性向上に務める。
	過去の実績等	下関市勤労者総合福祉センター 平成18年以降 長府庭園、長府毛利邸、下関市内体育施設 ほか
経済性		提案価格 令和8年度 21,270千円 令和9年度 21,270千円